

■（３１）同じ出来事もどこから見るかで変わる！

東日本大震災の報道で再び被災地に入っている。前回の宮城県に次いで今回は岩手県だ。三陸海岸沿いの街や集落の惨状は同じで、丸ごと津波に流されたような状態だ。

取材拠点とする盛岡市で５日、震災報道を続ける新聞を読み比べてみた。朝日新聞の１面は「生肉食中毒 ４０代死亡」と焼き肉店の食中毒事件だった。一方、地元の岩手県の新聞・岩手日報は「『平泉』登録関門へ」となっている。歴史の教科書にも登場する「平泉」が世界遺産に登録されるかどうかの節目を迎えたことを伝えている。

どちらも大切なニュースだ。岩手県の地元紙は岩手のニュースを重視したのだろう。朝日新聞は全国ニュースを意識した。富士山もどこから見るかもで呼び名も変わる。静岡側からは「表富士」で、山梨側からは「裏富士」。だが、山梨でも勤務した身としては、「？」と言いたくもなる。友だちの意見に対しても、立場で賛成や反対が出てくるはずだ。

被災地の出来事も、東京や大阪など遠くから見るのと被災地で見るとは違いが出てくるのは当然です。しばらく岩手、東北の視点でお伝えしようと思います。（山）